

1 資料の収集と整理

- ① コースで学ぶべき知識等が掲載されている可能性のある資料を収集する。
 - ・ 内閣府から発出したガイドラインや通知
 - ・ 災害対応の検証報告書
 - ・ 地方公共団体の先進的な計画やマニュアル 等
- ② 学ぶべき知識等として、個別の災害対応業務が実施できるようになるために、職員がどのようなことを把握・理解できればよいか書かれている箇所を収集した資料から抜き出し、「3つの基本区分」のどれに関連しているのかを分析し、整理する。

3つの基本区分での整理イメージ

3つの基本区分	要素	知識・情報の内容	資料No.
A.基本的な考え方 ・ 業務の目的、被災者に対し提供するサービスが分かる内容 ・ 業務実施のために知っておくべき基本的な考え方や、基礎知識	・ 法律、計画	・ ○○○○○○	○
	・ 制度、仕組み、枠組み、型	・ ○○○○○○	○
	・ 職員としての心構え	・ ○○○○○○○○	○
	・ 専門用語、重要キーワード	・ ○○○○	○
	・ 業務の流れ(全体像)	・ ○○○○○○	○
B.事前の基準の設定・体制構築 ・ 事前の備えとして決めておくべき基準や、構築しておくべき体制に関する知識	・ 判断基準の設定	・ ○○○○○○	○
	・ 体制の整備	・ ○○○○○○	○
	・ 環境整備	・ ○○○○○○	○
	・ 平時からの取組み	・ ○○○○○○○○	○
C 災害発生時の業務 (業務全体の流れと業務上の留意点) ・ 災害時の具体的な業務の手順や実施方法、留意点等に関する知識	・ 業務の項目(手順に沿って)	・ ○○○○○○	○
	・ 業務の内容、方法	・ ○○○○○○○○○○	○
	・ 留意事項、ノウハウ	・ ○○○○○○	○
	・ 課題、教訓	・ ○○○○○○○○○	○
	・ 災害対応上参考になる事例	・ ○○○○○○○○○	○

2 学ぶべき知識の階層化（WBS化）

- ① コースの概要や目的を明確にする。
- ② 1で整理した結果を踏まえ、「3つの基本区分」を学習の基本的な枠組みとして、学ぶべき内容を「学習項目」「学習詳細項目」「学習内容」で細分化し階層化（WBS形式化）する。階層的に整理することで、コースで学ぶべきことを明確化し、また、その一覧を整理することで学習の全体像を明らかにする。

学ぶべき知識の階層化（WBS化）のイメージ

3つの基本区分	学習項目	学習詳細項目	学習内容
A.基本的な考え方	業務にあたっての基本的な構え
	実施主体
	基本知識
	
B.事前の基準の設定・ 体制構築	基準・規定事項
	体制
	
	
C 災害発生時の業務 (業務全体の流れと 業務上の留意点)	体制の確立
	活動A
	活動B
	
	活動X
	撤収

研修指導要領の学習項目・知識に該当

3 講義ユニットの内容整理

- ① 階層化(WBS化)の結果を基に学びの流れを意識して学習目標を設定する。学習目標は「～を説明できる」の形式で設定する。
- ② 階層化(WBS化)した学習項目を、該当する学習目標に割り当てる。
- ③ 15分程度の講義ユニットになることを念頭に、学習項目、学習目標を調整する。

講義ユニットの内容整理のイメージ

講義ユニット	学習目標	学習項目
1	避難所運営の概要を説明できる	災害対応における避難所の位置付けについて
		避難所の「質の向上」の考え方について
		避難所運営業務における対策項目の概要について
		災害フェーズにおける「避難所運営業務」の流れについて
		避難所運営業務のための連携協働体制について
2	運営体制の確立(平時)を説明できる	避難所運営体制の確立について
		指定避難所とは何かについて
		福祉避難所やホテル・旅館等多様な施設の確保について
		避難所経費(災害救助法)について
		帰宅困難者・在宅避難者対策について
3	運営体制の確立(平時)を説明できる	避難所運営委員会について
		受援体制について
		初動の具体的な事前想定について
		避難所レイアウトについて

研修指導要領の学習目標に該当

4-1 スライド教材の作成

- ① 階層化(WBS)と講義ユニットの内容整理の結果を基に、PPT基本フォーマットを使って、導入ユニットおよび講義ユニットのスライドを作成する。
- ② スライド作成後、ナレーション原稿の作成・収録、動画編集を行い、コンテンツとして仕上げる。

講義ユニットの内容整理

講義ユニット	学習目標	学習項目
1 避難所運営の概要を説明できる	学習目標	災害対応における避難所の位置付けについて
2 運営体制の概要(平時対応)を説明できる		避難所の「質の向上」の考え方について
		避難所運営業務における対策項目の概要について
3 運営体制の確立(平時対応)を説明できる	学習項目	災害フェーズにおける「避難所運営」の流れについて
2 運営体制の概要(平時対応)を説明できる		避難所運営業務のための連携・体制について
		避難所運営体制の確立について
1 避難所運営の概要を説明できる		指定避難所とは何かについて
		福祉避難所やホテル・旅館等での確保について
2 運営体制の概要(平時対応)を説明できる	避難所経費(災害救助法)について	
3 運営体制の確立(平時対応)を説明できる	帰宅困難者・在宅避難者対策	
	避難所運営委員会について	
1 避難所運営の概要を説明できる	受援体制について	
	初動の具体的な事前想定について	
2 運営体制の概要(平時対応)を説明できる	避難所レイアウトについて	

4-2 テスト教材の作成

- ① 階層化(WBS)と講義ユニットの内容整理の結果を基に、学習項目1つにつき、学習詳細項目・学習内容を踏まえたテストを1問作成する。
- ② テストは、〇×形式とし、問題文と合わせて解説文も作成する。

学ぶべき知識の階層化(WBS化)

3つの基本区分	学習項目	学習詳細項目	学習内容	
A. 基本的な考え方	業務にあたっての基本的な構え 実施主体	学習項目	学習内容	
				基本知識
B. 事前の基準の設定・体制構築	基準・規定事項 体制	学習詳細項目	学習内容	
				体制の確立
C. 災害発生時の業務(業務全体の流れと業務上の留意点)	活動A 活動B 活動X 撤収	学習詳細項目	学習内容	
				活動A
				活動B
				活動X

学習目標 1 避難所運営の概要

- 避難所の「質の向上」の考え方
- 避難所運営業務における対策項目の概要
- 災害フェーズにおける「避難所運営業務」の流れ
- 避難所運営業務のための連携協働体制

4

1. 避難所の「質の向上」の考え方について学ぶ

「住まいを失い、地域での生活を失った被災者の拠り所」となる避難所での生活には課題が多く、質の向上が必要である

避難所について

- 避難所は「住まいを失い、地域での生活を失った被災者の拠り所」となり、また「在宅で不自由な暮らしを送る被災者の支援拠点」となる。

避難所の実際と「質の向上」の必要

- 東日本大震災の各避難所では、水、食料、トイレ等が不十分で、暖房は限定的であり、狭い空間での生活によって、多くの避難者が体調を崩す恐れと隣り合わせの生活であった。
- 避難者の健康維持を目標に、「避難所の質の向上」に取り組むことで、避難者の健康を守り、その後の生活再建への活力を支えることが重要

5

避難所運営コース 達成度テスト

Q2 正解

【学習項目: 避難所の「質の向上」の考え方】

「住まいを失い、地域での生活を失った被災者の拠り所」となる避難所での生活には課題が多く、避難者の健康維持を目標に質の向上が必要である。

正解

「避難所の質の向上」に取り組むことで、避難者の健康を守り、その後の生活再建への活力を支えることが重要です。

次へ

戻る 2 / 5 次へ